

第1回アウラ・コキリコセミナー

発言録をテキストマイニング (KH-Coder)

分析にどう使うか！

アウラセミナーは前回の54回で終了しました。

今回からテーマ会場を一新してアウラ・コキリコセミナーとして再スタートします。

新しくなること

- ・インタビュー調査の方法論研究から、調査結果の使い方をテーマにする
- ・会場が恵比寿から青山に変わる（恵比寿アウラインタビュールームは6月12日で閉鎖）

かわらないこと

- ・毎回、架空の消費者やデータではなく、「ナマの消費者・データ」を使う。

発言録をテキストマイニングする

ビッグデータ、AIブーム

2013年にテキストマイニングでFGIの発言録を分析するという試みをしました。準備不足で中途半端な結果に終わってしまいました。

だいぶ時間がたちましたが、ここで再度挑戦します。

ビッグデータから始まって最近では第四次（三次？）のAIブームで、テキストデータの解析の研究も進んだようです。

SNSの分析から、ブームを予想したり、選挙結果の予測に役立ったということを目にします。

ただ、我々の現場のテキストデータはビッグではありません。

現在のところ、分析にAIを使うという地点からは遠いようです。

いきおい、「なんかすばらしい解析ソフトが出て、自動的に分析してくれないかなー！」と受け身で無責任な姿勢になりがちです。

この反省から、今回は使う、使える、どうしたら使える、との「前のめり」の姿勢で臨みます。

批判より提案

我々リサーチャーだけではないと思いますが、新しい手法に懐疑的態度を取ります。

まして、自分がよく知らない新しいものは「どうせ、たいしたことない」とのバイアスがかかります。

そうではなく、使える前提で解析結果を見、不足部分は我々の知見で補い、使えるよう新しい工夫を考え出すように心がけます。

批判より提案です。

解析ソフト

今回も「KH-Coder」というフリーソフトを使います。

完全には遠いですが、一応、使えるようになりました。

<開催日時・場所>

2017年6月22日（木） 13:00～17:00

13:00～14:00 テキストマイニングとは（概略説明）

14:00～15:30 インタビューの分析（VTRと発言録は提供します）

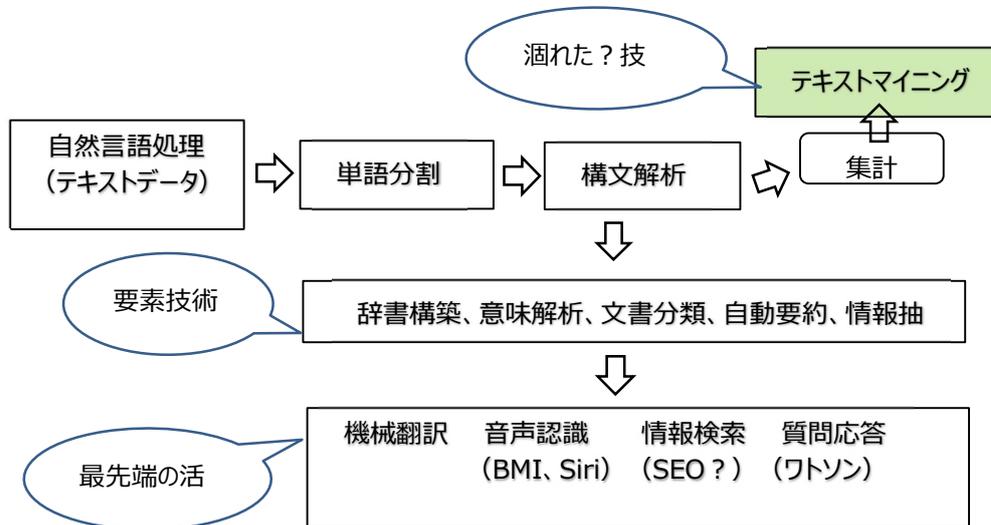
15:30～16:30 テキストマイニングをやってみる、使える工夫

場所：南青山：STEP B-1インタビュールーム

発言録のテキストマイニングの価値

AIブームとテキストマイニング

そろそろ終わると言われてる今回のAIブームの中でテキスト解析関連ではIBMのワトソンが注目です。難しい部分は背景に隠してビジネスに使えるように製品化したところはさすがIBMです。ジョパティというクイズ番組で優勝したり、病気の診断で専門医の能力を超えた、というニュースがありました。詳しいことはわかりませんが、これは「自然言語処理」の研究分野だそうです。



自然言語処理の研究はビッグデータを使って機械翻訳や情報検索などAIそのものをめざしています。テキストマイニングは、その入り口の部分だけで利得を得ようとしていると言えます。使えそうなものは「とりあえず使う」マーケティングの精神に合致しています。

FGI発言録をテキストマイニングする

FGIの分析は、自分のメモと記憶を発言録で確認しながら行います。ここで発言録だけを客観的に分析するのがテキストマイニングです。発言録を単語にばらばらにして、単語の出現頻度や共起関係のネットワーク図を作ります。ここまでで、分析者が気づけなかったことの発見や分析の確信が得られることがあるかどうか。さらに、できれば対応分析まで行います。それぞれの結果を通常の分析にうまく役立てる方法を研究します。

当日プログラム

- ① テキストマイニングと「KH-Coder」の簡単な解説
- ② 実際のインタビューのDVDから、参加者各自が簡単に分析する。
- ③ 発言録を読み込む
- ④ 発言録のテキストマイニング紹介（分析結果の紹介）
- ⑤ 定性調査の発言録のテキストマイニングの使い方研究
 - <インタビューのテーマ>
 - 「スターバックスユーザー」のペルソナを作る
 - <インタビュー内容>
 - 20、30代のスタバユーザー女性3人に1 on 1 インタビュー
 - その後、当の3人でグループインタビュー
 - <実施時期>
 - 2013年6月
 - <資料>
 - インタビューDVD、発言録、発言録のテキストマイニング